

第2回鉄道ジオラマコンテスト

エントリー No. 3

出品者名： 先本 廣司 （ 津山市 ）

作品名： 盆踊り（江州音頭「葛の葉白狐伝」）



夏の日夕闇せまる頃
遠くから聞こえて来る
盆踊りの江州音頭の太鼓の音

昭和40年頃、私は滋賀県の会社に就職しました。

夏になると各地で盆踊りが始まりました。当時の日本はまだ貧しく、娯楽施設が少なく、盆踊りは1年の中でも最大のイベントでした。盆踊りの日になると、老若男女、心弾ませました。特に若者にとって盆踊りは男女の出会いの場でもありました。

私も仲間と夕食もそこそこに出かけたものでした。

「葛の葉白狐伝」は江州音頭の代表的な曲で、陰陽師の安部清明の母親が信田の森の白狐で、ある日、その正体がばれ、障子に

「こいしくば たずねてきてみよ

いずみなる しのだ森の うらみくずのは」

の一首を残して、信田の森に去っていくという歌舞伎や文楽で有名な悲しくて切ない子別れの物語を歌っています。

青春時代を滋賀県高浜町で過ごした私には第二のふるさです。

スイッチを入れると江州音頭の曲が流れます。